「小数第N位まで」を答える場合は、第(N+1)位を四捨五入すること。たとえば「13.79584...」を「小数第2位まで」で答える場合は「13.80」となる。

問1. 以下の問いに答えよ。 (30点)

2024-cs3-mid-1.csv を読み込んで一連の解析を行うノートブックの ___(1)___ などの空欄を埋め、また問いに答えよ。空欄を埋めるプログラムは1行で答えること。なお、提出するipynb/htmlファイルには、以下に表示されていないプログラム行が含まれていても構わない。

```
import numpy as np
import pandas as pd
import matplotlib.pyplot as plt
```

2024-cs3-mid-1.csv の全データをデータフレーム df に読み込む (1)。

```
csv_in = '2024-cs3-mid-1.csv'
___(1)___
```

(1)

df の行数(データ数)と列数 (2)、各列のデータ型と非欠損値数 (3)、df の最初の5行を表示 (4)。 また、データ数 (5) と列数 (6) を答えよ。

```
print( ___(2)___ )
print( ___(3)___ )
display( ___(4)___ )
# num of data: (5)
# num of columns: (6)
```

(2)		

(3)

(4)

(5)
(6)
df から c1 列を取り出し、ser_c1 に代入 (7)。 ser_c1 の 中央値を表示 (8)。また、その数値(小数 第2位まで)を (9) に答えよ。
(7) print((8)) # value: (9)
(7)
(8)
(9)
dfの各行を、c1 列の値の降順にソートして、先頭5行を表示 (10)。また、この列の2番目に大きな値 (小数第2位まで)を (11) に答えよ。
display((10)) # value: (11)
(10)
(11)
c6 列に出現する各値とそれぞれの出現回数の一覧表示 (12)。 また、値 d の出現回数を (13) に答えよ。
print((12)) # value: (13)
(12)
(13)
df から ID 列、c4列、c5列を削除したデータフレーム df2 を作成 (14)。 df2 のデータを、c6 列の値 ごとにまとめ、残りの列の平均値を表示 (15)。 c6 列の値が e のデータの、c2 列の平均値を (16) に 答えよ(小数第2位まで)。
(14) display((15))

value: (16)

(15)
(16)
df の各行について、c1 列、c2列および c3 列の値の和を求め、それを新たな n_tot 列に格納 (17)。 n_totの値について降順にソートした結果をdf3に代入 (18)。 df3の n_tot 列の先頭行の値を (19) に答えよ(小数第2位まで)。
(17) (18) # value: (19)
(17)
(18)
(19)
df3 のn_tot列のヒストグラムを作成 (20)。bin数は10とし、軸ラベルやタイトル、凡例などの装飾はつけずに、1行で答えること。
(20) plt.show()
(20)
ipynbファイルのアップロード:
▲ ファイルをアップロード
htmlファイルのアップロード:
▲ ファイルをアップロード

*回答は自動的に記録されますが、最後に「提出」ボタンをクリックし提出を確認してください。

✿ 提出

「小数第N位まで」を答える場合は、第(N+1)位を四捨五入すること。たとえば「13.79584…」を「小数第2位まで」で答える場合は「13.80」となる。

問2. 以下の問いに答えよ。 (25点)

cs3-mid-2-1.csv と cs3-mid-2-2.csv を読み込んで一連の処理を行うノートブックの ___(1)___ などの空欄を埋め、また問いに答えよ。空欄を埋めるプログラムは1行で答えること。なお、提出するipynb/htmlファイルには、以下に表示されていないプログラム行が含まれていても構わない。

```
import numpy as np
import pandas as pd
import matplotlib.pyplot as plt
```

2024-cs3-mid-2-1.csv の全データを **データフレーム df1**、2024-cs3-mid-2-2.csv の全データを **データフレーム df2** に読み込んであるとする(回答不要)。

df1 の重複行をすべて表示 (1)。

重複を削除して、行番号を0からの連番に振り直し、変数 df1m に代入 (2)。 (元の行番号を格納する列は生成させない)

df1m の行数(データ数)を答えよ (3)。

```
display( ___(1)___ )
___(2)___
# num: (3)

(1)

(2)

(3)
```

df1m の各列の欠損値の数を表示 (4)。 欠損値を1つ以上含む列をすべて答えよ (5)。 次の例のように、'や"は付けず、複数ある場合はカンマで区切ること(例 a1, a2, a3)。 df1m の欠損値を1つでも含む行を表示 (6)。

df1m の欠損値を1つでも含む行を削除して、行番号を0からの連番に振り直し、変数 df1m2 に代入 (7)。

<pre>print((4)) # columns with missing values: (5)</pre>
<pre># columns with missing values: (5) display((6))</pre>
(7)
(4)
(5)
(6)
(7)
df2 の q2 列に含まれる値とその個数を表示せよ (8)。 df2 の q2 列の値't'の個数を答えよ (9)。
print((8))
<pre># number of 't': (9)</pre>
(8)
(9)
df1m2 の各行の右側に、df2 の対応する行を結合し、結果を変数 df3 に代入 (10)、冒頭5行を表示。
このとき、df1m2 の ID 列の値が、df2 の IDX 列の値と一致するようにし、 データが ID 列と IDX 列の両方に共通して現れる場合にのみdf3に現れるようにする。
の列列 TE J C ME TO C M
(10) display(df3.head())
urspray(urs.neau())
(10)
df3の q2 列が 's'で、かつ c1 列の値が2.0より大きい行を抽出し、結果をdf3_retに代入 (11)。 df3_ret
のデータフレームをCSVファイル 2024-cs3-mid-out.csv に保存 (12)。 なお、行番号をindex列に保存する必要はない。またencoding= など、その他のオプションの設定は不要。 また、df3 ret の行数
(データ数) と列数を (13) および (14) に答えよ。
(11)
(12)
num: (13), (14)
(11)

(12)			
(13)			
(10)			
(14)			

ipynbファイルのアップロード:

▲ ファイルをアップロード **●** 未提出

htmlファイルのアップロード:

4 ファイルをアップロード

❸ 未提出

*回答は自動的に記録されますが、最後に「提出」ボタンをクリックし提出を確認してください。

◐ 提出

「小数第N位まで」を答える場合は、第(N+1)位を四捨五入すること。たとえば「13.79584…」を「小数第2位まで」で答える場合は「13.80」となる。

問3. 以下の問いに答えよ。 (25点)

データファイル「google-stock-price.csv」には、Google LLCの2020年1月1日から2023年5月15日までの株価(米ドル)が含まれている(平日のみ)。 「date」列は日付を示し、「price」列は株価を示す。google-stock-price.csv を読み込んで一連の処理を行うノートブックの ___(1)___ などの空欄を埋め、また問いに答えよ。空欄を埋めるプログラムは1行で答えること。なお、提出するipynb/htmlファイルには、以下に表示されていないプログラム行が含まれていても構わない。

```
import numpy as np
import pandas as pd
import matplotlib.pyplot as plt
```

全データを**データフレームdf**に読み込んであるとする (回答不要)。

df の date 列を、日付を扱うのに適したデータ型に変換して上書き (1)。

```
df['date'] = ___(1)___
(1)
```

df の 'price' 列について、オーバーラップしない1か月間ごとの平均値 (期間の始めに置く) を求め、結果を変数 df_month_start に格納 (2)(3)。

```
df = ___(2)___
df_month_start = ___(3)___
```

(2)		

(3)

df に以下のように 'remark' 列と 'name_of_day' 列を追加する (4)(5)。

<pre>df[(4)] = ['high' if x>100 else 'low' for x in df['price']] df[(5)] = df.index.day_name()</pre>
(4)
(5)
df から 2023 年のデータを抽出し、複製メソッドを使用して、抽出されたデータのコピーを df_23 変数に代入 (6)(7)。また、df_23 の行数を(8) に答えよ。
<pre>df_23 =(6)(7) # value: (8)</pre>
(6)
(7)
(8)
df_23 の 'name_of_day' 列と 'remark' 列でクロス集計表を作成し(合計列・合計行も追加)、df_23_ctab に代入 (9)。
<pre>df_23_ctab =(9) display(df_23_ctab)</pre>
(9)
ipynbファイルのアップロード:
▲ ファイルをアップロード
htmlファイルのアップロード:
▲ ファイルをアップロード

*回答は自動的に記録されますが、最後に「提出」ボタンをクリックし提出を確認してください。

✿ 提出

「小数第N位まで」を答える場合は、第(N+1)位を四捨五入すること。たとえば「13.79584…」を「小数第2位まで」で答える場合は「13.80」となる。

問4. 以下の問いに答えよ。 (20点)

データファイル「driver-data.csv」には、4000人のドライバーの走行データが含まれている。「driver-id」列はドライバーのIDを表す。「avg_dist_day」列は、ドライバーが運転した平均距離 (km) を表す。「avg_over_speed」列は、ドライバーが最高速度制限を超えた平均回数を表す。「driver-data.csv」を読み込んで一連の処理を行うノートブックの ___(1)___ などの空欄を埋め、また問いに答えよ。空欄を埋めるプログラムは1行で答えること。なお、提出するipynb/htmlファイルには、以下に表示されていないプログラム行が含まれていても構わない。

```
import os
os.environ['OMP_NUM_THREADS'] = '1'

import numpy as np
import pandas as pd
import matplotlib.pyplot as plt
from sklearn.cluster import KMeans
from sklearn.preprocessing import scale
```

driver-data.csv の全データをデータフレームdfに読み込んであるとする (回答不要)。

dfの「avg dist day」列と「avg over speed」列をデータフレーム dfX に読み込む (1)。

```
dfX = ___(1)____

(1)
```

dfX を標準化し、結果を変数 X scaled に代入(2)。

```
X_scaled = ___(2)___
```

(2)

X scaledをデータフレーム型に変換し、dfX scaledに代入。列名はdfXと同じにする(3)。

dfX_scaled =(3)
(3)
以下のように KMeans クラスタリングを実行し、結果を cls に代入。
kmeans =(4)((5) = 4, n_init=10, random_state=10) cls =(6)(7)(dfX_scaled)
(4)
(5)
(6)
(7)
これらのクラスタのうち、クラスタ2 の 中心の座標を表示する (8)。
print((8))
(8)
クラスタリング結果を df に、「clstr_num」というラベルを持つ新しい列として追加 (9)。また、各クラスタのメンバー数を求めるコードを答えよ (10)。
(9) display(df.head()) print((10))
(9)
(10)
ipynbファイルのアップロード:
▲ ファイルをアップロード
htmlファイルのアップロード:

≛ ファイルをアップロード

❸ 未提出

*回答は自動的に記録されますが、最後に「提出」ボタンをクリックし提出を確認してください。

✿ 提出